

## 無借金経営について

経営者の方とお話すると、いつも「無借金経営が理想の経営状態ですね。」とおっしゃる方がいらっしゃいます。

「借金はしたくない」「借金は怖い」というのは、誰もが思っていることなのです。

理想とされる無借金経営を目指すなら、その為に何をすることが問題になります。

利益を多く出して、納税をきっちりしない限り無借金経営にはなりません。

「利益も出さない（出したくない）、納税もしたくない…でも借金は厭だ！」

何か可笑しく感じませんか？まるで中国の故事「矛盾」のようです。

無借金経営を目指すなら年間の税引き前利益が、社員（役員含む）1人当たり200万円は必要です。

例えば社員数5名の会社の場合…

必要な税引き前利益は年間1,000万円、そのうち400万が税金です。

これが10年では

$$(1,000万円 - 400万円) \times 10年 = 6,000万円$$

これだけの内部留保が出来ます。

内部留保が多ければ多いほど、無借金経営に大きく前進します。

普通、内部留保を多くするためには、

- ① 新株式を発行する
- ② 利益を多く出すことで、内部留保を増す

これ以外に自己資本を多くすることは不可能です。

要は、資金をうまく循環させることが必要なのです。人の体で例えるならば、血

の巡りが良いか悪いかという事です。血管が詰まらない、血が不足しないように体をコントロールしていくのと同じことです。

無借金経営を望んでいるのなら、その目標に向かって行動を起こしましょう。

資金会計理論では、一步進めて、実質的に無借金（ニュー資金別貸借対象表の正味運転資金の金額がプラス）を理想の財務としています。